

# 一所懸命

令和3年11月9日(火)

No. 12

発行：長崎市立池島小中学校

文責：担任

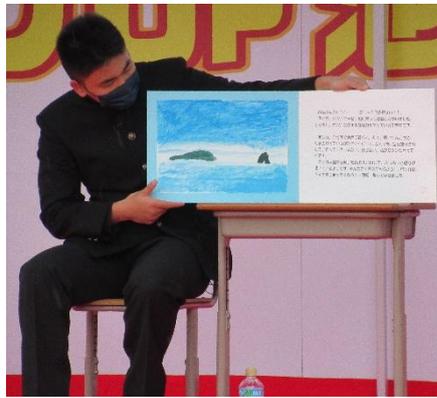
## \*\*\* 池島まつり \*\*\*

11月6日(土)に第3回池島まつりが開催されました。地域の方々をはじめ、多くの人々の協力のもと、無事に終わることができましたことを感謝申し上げます。

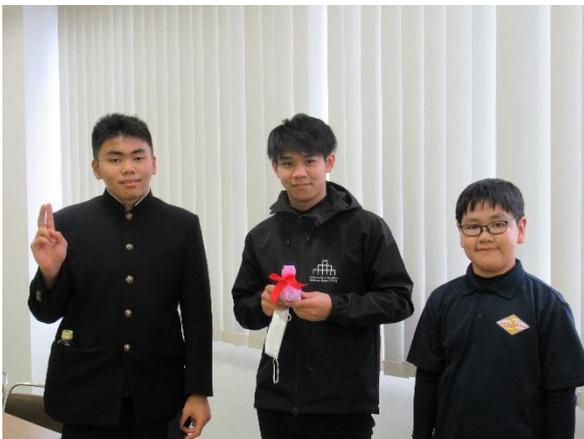
小中学校の総合的な学習の時間の発表がトップバッターで、責任重大と児童・生徒ともに緊張をしていましたが、入念な準備を重ねて本番を迎えることができたので、いい緊張感で発表に臨むことができました。

これまで、児童・生徒は、1年目で池島の魅力を調べ、「池島マップ」を作りました。2年目は、交流でお世話になっている外海地区の魅力を発見しようと大野教会や出津教会を巡りました。3年目のテーマは、「地域貢献・島への恩返し」。池島の魅力を発信しようと、小中学校それぞれで、学習に取り組みました。

小学校は、池島の魅力を写真で撮り、それをカレンダーにまとめました。これまで撮りためた池島の写真を12枚選ぶのにとっても苦労したとのこと。発表では、どうしてこの写真を選んだのか理由を説明しながら、カレンダーを紹介しました。



中学校は、2年生の時に表現力を磨くために絵本の読み語りを行ったことをきっかけに、3年生では、自分でも池島の絵本を作って、絵本を通して池島の魅力を発信したいと思うようになりました。絵本作家の西平あかね先生のアドバイスを受けながら池島の龍神様をモチーフに絵本を完成させることができました。当日は、絵本の読み語りを披露し、多くの方々に聞いてもらうことができました。



その他にも、池島のクイズや「池島のメロディー」の発表をしました。「池島のメロディー」では、宮田校長先生、山本先生や横山先生、岡田先生、村野先生が応援にかけつけてくださり、みんなで盛り上げました。また、まつりのゲストとして来ていただいた、

変面師の方や歌手の桜井すずめさんにインタビューをさせていただき、この職業についてきっかけや仕事のやりがい、これから挑戦したいことなど、貴重な話をたくさん聞くことができました。二人にとって、それぞれの学年の集大成として、とても立派な発表ができました。この学習を元に、3学期も「地域貢献・島への恩返し」をテーマに池島の魅力を発信していきます。

# 一所懸命

## \*\*\* 薬物乱用防止教室 \*\*\*

11月11日(木)に長崎県警少年課巡査部長の八戸佑治さんをお招きして、薬物乱用防止教室を行いました。今回の講話では、3つのことについて話がありました。

- 1 薬物乱用は**他人事**ではない
- 2 薬物乱用者には、「**死**」が待っている
- 3 スマートフォンを**正しく**使う

長崎では、平成29年から令和2年にかけて、少年(20歳未満)の検挙者が15名おり、そのうち、10名は高校生だったそうです。もしかすると薬物の危険は身近にせまっているのかもしれない。そんなとき、大事なものがきちんと断ること。しかし、それが親しい友達だったら、学校の先輩だったら、

断りにくい雰囲気だったらどうしたらいいのでしょうか。そんな時の断り方も教えてくださいました。まず、薬物を誘ってくる人は、そもそも本当の友達ではなく、信用してはいけないということです。

例えば、友達に誘われたら、「う～ん。あんまりそういうのに興味ないから」ときっぱりと断る勇気を持ちましょう。また、ネットで知り合った人に誘われたら→「既読無視」「アカウント削除」するなど、危ない誘いをしてくる人とは連絡を絶ちましょう。とにかく、「自分は薬には興味ない」ときちんと断ることが大切です。最終的には自分の命は自分で守る。一度でも薬物に手を出してしまうと取り返しがつかないことをこの講話を聞いて改めて確認することができました。



## \*\*\* 家庭科の作品 \*\*\*

池島っ子jrが家庭科で作っていたナップサックが完成しました。完成までには、布に刺した待ち針が手に刺さったり、ミシンで縫うときにまっすぐ縫えなかったりといろいろな困難がありました。その都度丁寧にやり直して根気強く最後まで作ることができました。本人に感想を聞いたところ、「作るのは難しかったけど楽しかった」と満足げでした。池島っ子は、池島まつりで生み出された「池島の冒険」の名わき役の「ポン介」のぬいぐるみを作りたいとのこと。ぜひ、家庭科の時間に作りましょう！秋は終わろうとしています。まだまだ池島小中学校の芸術の秋は終わりません。

